

「第4回 愛媛県勤労者定期観測調査」結果概要 (2013年5月調査、定期調査編)

2013年11月1日

はじめに

一般社団法人愛媛県労働者福祉協議会では、愛媛県内の勤労者の福祉を推進するための基礎資料を得ることを目的に、県内勤労者を対象にした景況調査を定期的に行っています。2013年5月に「第4回調査」を実施しましたので、ここに調査結果の概要を報告します。当調査にご協力いただいた加盟団体・事業所、ご回答していただいた方々に厚くお礼申し上げます。

今回の報告では、定期調査のみをとりまとめています。特別調査（全労済愛媛県本部からの設問）については、11月末に報告書を取りまとめ、全労済愛媛県本部にデータを活用いただけるよう予定しております。

調査概要

調査名称：愛媛県勤労者定期観測調査（愛媛県勤労者短観）

調査対象：一般社団法人愛媛県労働者福祉協議会に登録する 112 団体・事業所の勤労者

調査項目：定期調査（勤労者の景況感、仕事の現状、暮らし向き等）および特別調査

調査実施期間：年2回5月、11月（第4回調査）2013年5月1日～5月31日

調査依頼数：（第4回調査）登録数：488名 回答数：408名 有効回答数：407

調査方法：質問票によるア

ンケート調査（郵送調査法）

主要な調査結果概要（定期調査の結果概要）

1. 勤め先の経営状況

1年前に比べて、勤め先の経営状況は、「悪くなったと思う」が34.2%で、「良くなったと思う」の9.3%を大きく超過している。ただ、経営状況DIは前回の-37.2から今回の-24.8へと改善しており、勤労者から見た景気は回復してきている。

2. 暮らし向き

1年前と比べて世帯の暮らし向きは、「悪くなった」19.0%、「良くなった」3.9%であったが、暮らし向きDIは、前回-19.5から今回-15.0へとやや改善している。特に南予において、「悪くなった」とする割合が減少している。

3. 仕事での不安・悩み

今回も、「将来の収入」が突出している。今回の調査では、第3位に「自分自身の能力開発・職業訓練」が入った。

4. 暮らし向きに関連した不安・悩み

「預貯金など資産の少なさ」、「自分や家族の健康」、「自分自身または配偶者の老後」の3つが第1回調査から変わらず上位にきている。

5. 生活の満足感

生活の満足感については、改善がみられる。

6. 総括

全体として、勤め先の経営状況と暮らし向きの改善がみられる。また生活の満足感の改善も確認できる。他方、将来への不安が相変わらず強いことも事実であり、それぞれのDI値の改善傾向が確固とした実態を伴ったものであるかについては、今後の観察が必要である。

第4回愛媛県勤労者短観調査 回答者属性

| | |
|----------|-----|
| アンケート回収数 | 407 |
|----------|-----|

| 性別 | 人 | % |
|----|-----|------|
| 男性 | 274 | 67.3 |
| 女性 | 131 | 32.2 |
| NA | 2 | 0.5 |

| 年齢構成 | 人 | % |
|-------|-----|------|
| 20歳代 | 67 | 16.5 |
| 30歳代 | 111 | 27.3 |
| 40歳代 | 124 | 30.5 |
| 50歳代 | 88 | 21.6 |
| 60歳以上 | 17 | 4.2 |

| 家族構成 | 人 | % |
|---------------------|-----|------|
| 1..あなた() | 53 | 13.0 |
| 2..あなた/親() | 55 | 13.5 |
| 3..あなた/親/その他(兄弟)() | 6 | 1.5 |
| 4..あなた/子ども() | 19 | 4.7 |
| 5..あなた/子ども/親() | 5 | 1.2 |
| 6..夫婦() | 56 | 13.8 |
| 7..夫婦/子ども() | 175 | 43.0 |
| 8..夫婦/親() | 8 | 2.0 |
| 9..夫婦/子ども/親() | 24 | 5.9 |
| 10..その他(それ以外の組み合わせ) | 6 | 1.5 |

| 居住地 | 人 | % |
|-----|-----|------|
| 東予 | 169 | 41.5 |
| 中予 | 183 | 45.0 |
| 南予 | 52 | 12.8 |
| その他 | 3 | 0.7 |

| 勤務地 | 人 | % |
|-----|-----|------|
| 東予 | 169 | 41.5 |
| 中予 | 189 | 46.4 |
| 南予 | 48 | 11.8 |
| NA | 1 | 0.2 |

| 勤続年数 | 人 | % |
|------------|-----|------|
| 5年未満 | 68 | 16.7 |
| 5年以上15年未満 | 141 | 34.6 |
| 15年以上25年未満 | 102 | 25.1 |
| 25年以上 | 95 | 23.3 |
| NA | 1 | 0.2 |

| 従業員数 | 人 | % |
|----------|-----|------|
| 9人以下 | 35 | 8.6 |
| 10~49人 | 55 | 13.5 |
| 50~99人 | 20 | 4.9 |
| 100~499人 | 120 | 29.5 |
| 500~999人 | 74 | 18.2 |
| 1000人以上 | 98 | 24.1 |
| NA | 5 | 1.2 |

| 業種 | 人 | % |
|---------------|-----|------|
| 民間製造業 | 152 | 37.3 |
| 民間非製造業 | 168 | 41.3 |
| 公務員 | 42 | 10.3 |
| その他(医療、福祉団体等) | 45 | 11.1 |

| 就業形態 | 人 | % |
|------|-----|------|
| 正規 | 350 | 86.0 |
| 非正規 | 56 | 13.8 |
| NA | 1 | 0.2 |

| 労働時間 | 人 | % |
|-----------|-----|------|
| 20時間未満 | 11 | 2.7 |
| 20~30時間未満 | 15 | 3.7 |
| 30~40時間未満 | 77 | 18.9 |
| 40時間 | 53 | 13.0 |
| 41~50時間未満 | 160 | 39.3 |
| 50~60時間未満 | 63 | 15.5 |
| 60時間以上 | 27 | 6.6 |
| NA | 1 | 0.2 |

| 年収 | 人 | % |
|---------------|-----|------|
| 200万円未満 | 32 | 7.9 |
| 200万円~400万円未満 | 127 | 31.2 |
| 400~600万円未満 | 147 | 36.1 |
| 600~800万円未満 | 72 | 17.7 |
| 800万円以上 | 18 | 4.4 |
| NA | 11 | 2.7 |

| 勤続年数 | |
|-------|------|
| 平均(年) | 15.9 |
| 中央値 | 14 |
| 最頻値 | 5 |

調査結果概要

1. 勤め先の経営状況

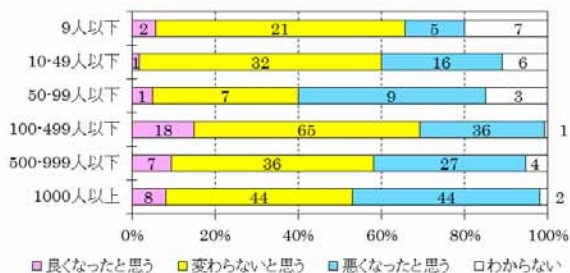
1年前に比べて、勤め先の経営状況が「悪くなったと思う」が34.2%、「良くなったと思う」が9.3%であり、「悪くなったと思う」が「良くなったと思う」を大きく超過している。

ただ、経営状況DIは前回の-37.2から今回の-24.8へと改善しており、勤労者から見た景気は回復してきている。

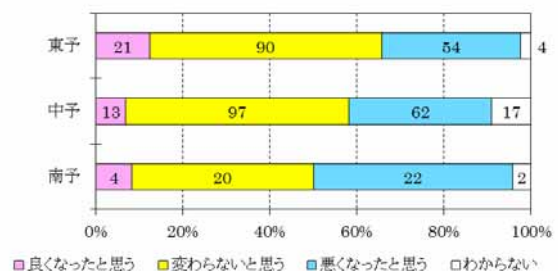
問1 勤め先の現在の経営状況



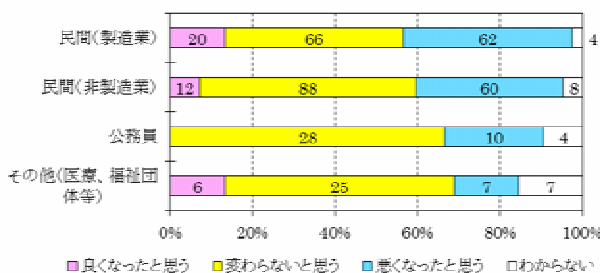
従業員数別にみた勤め先の経営状況(1年前と比べて)



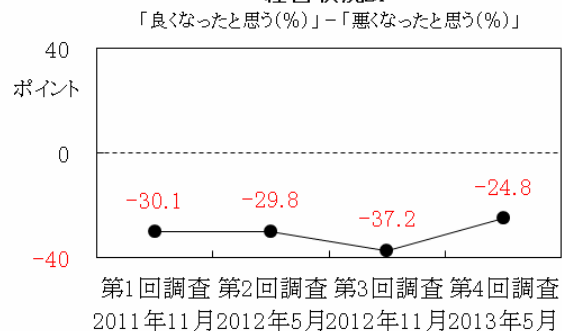
勤務地別にみた勤め先の経営状況(1年前と比べて)



業種別にみた勤め先の経営状況(1年前と比べて)



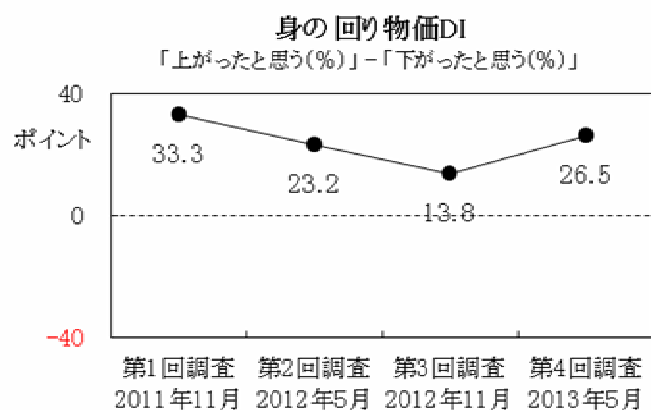
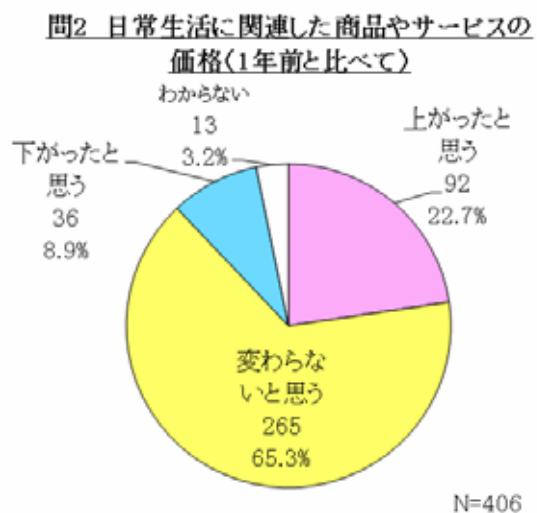
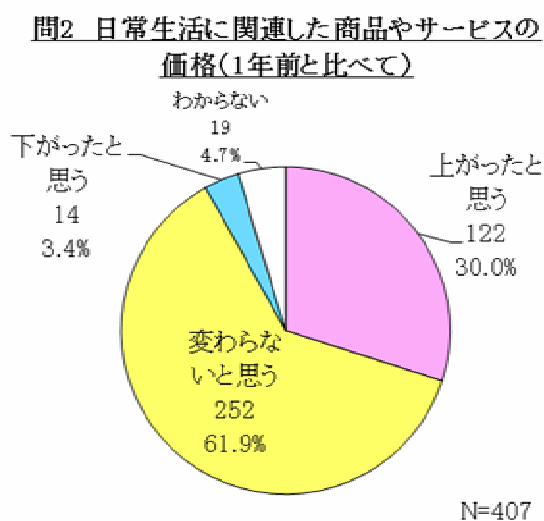
経営状況DI



2. 物価（あなたの日常生活に関連した商品やサービスの価格）

1年前と比べて「上がったと思う」が、前回 22.7%から今回 30.0%へと増え、「下がったと思う」が前回 8.9%から今回 3.4%へと減っている。その結果、身の回り物価DI は、前回までの低下傾向から上昇へと転じており、勤労者からみた物価は上昇へ転じている。

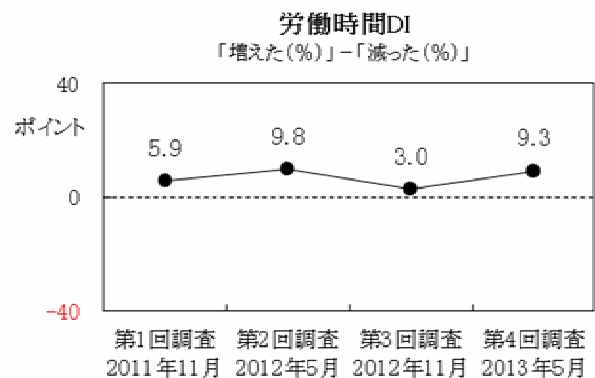
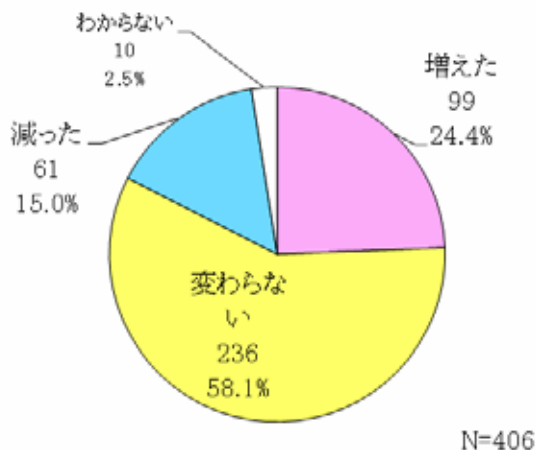
前回：第3回調査（2012.11月調査）



3. 実労働時間

1年前と比べた最近の実労働時間については、「変わらない」が58.1%で最多、「増えた」が24.4%、「減った」が15.0%であった。労働時間DIは上昇している。

問3 最近の実労働時間(残業・休日出勤を含む)(1年前と比べて)

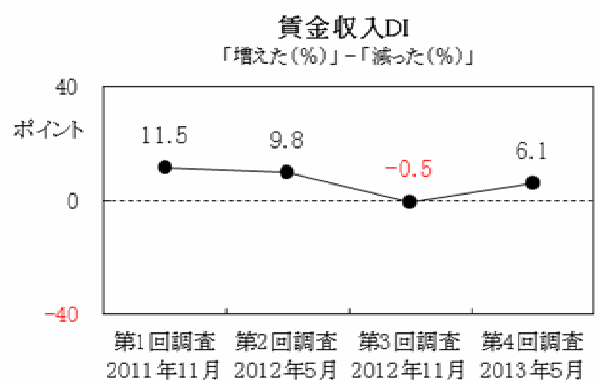
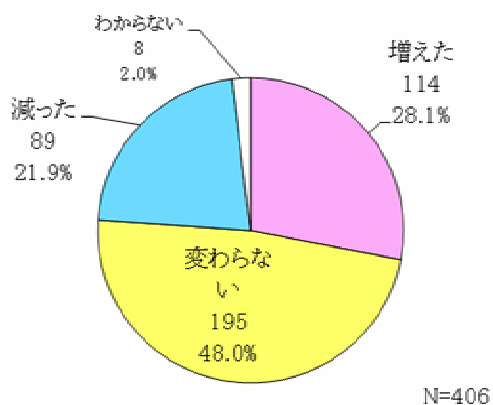


4. 賃金収入

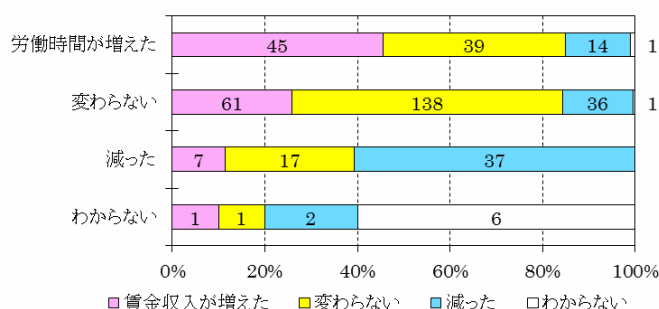
1年前と比べて、賃金収入が「変わらない」が48.0%、「増えた」が28.1%、「減った」が21.9%であり、賃金収入DIは上昇に転じている。

また労働時間と賃金収入の相関が確認でき、さらにいえば年収が多い層ほど、年齢が高い層ほど、賃金収入が「減った」割合が多い傾向がみられる。

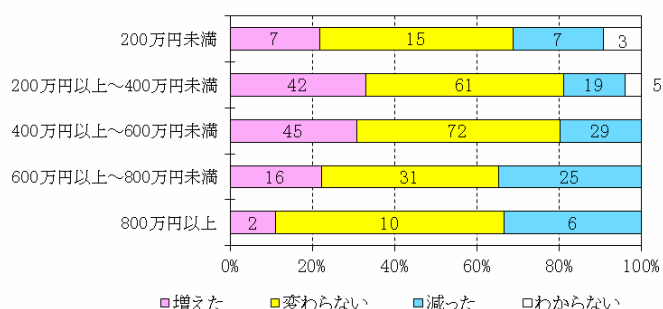
問4 あなたの賃金収入
(1年前と比べて)



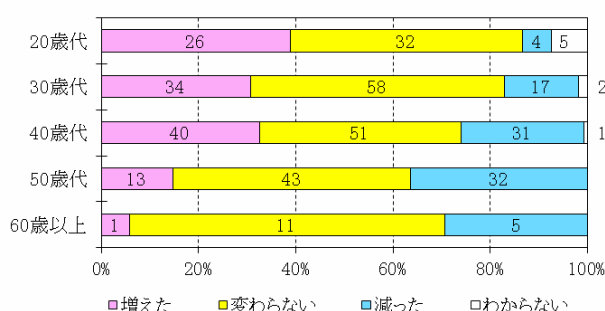
労働時間からみた賃金収入の変化(1年前と比べて)



年収別にみた賃金収入の変化(1年前と比べて)



年齢別にみた賃金収入の変化(1年前と比べて)

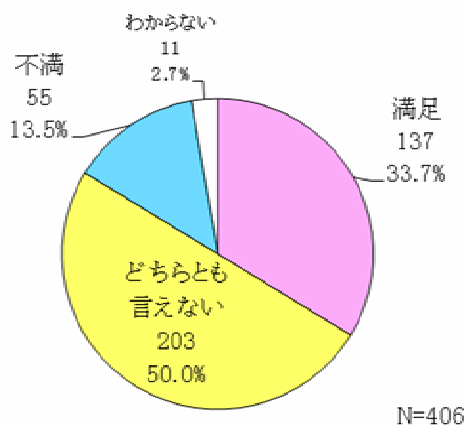


5. 勤め先の仕事の満足度

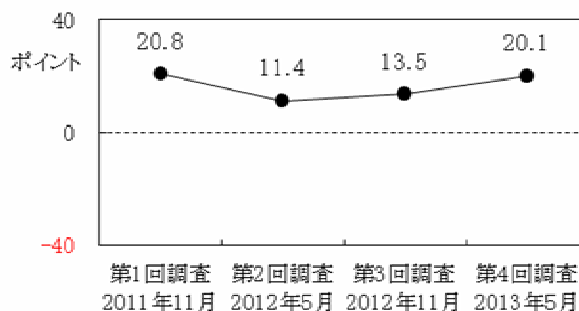
「満足」と答えたものが33.7%、「不満」と答えたものが13.5%で、「満足」が「不満」を上回った。満足度DIは改善傾向にある。

就業形態別に見ると、正社員・非正社員の双方で「満足」が上昇しており、年収別では、400万円以上～600万円未満での「満足」の増加幅、「不満」の減少幅が大きい。

問5 仕事の満足感

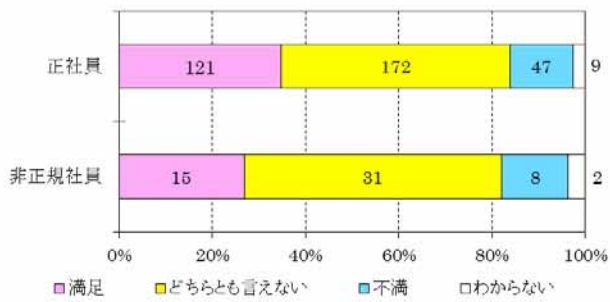


仕事満足DI
「満足(%)」-「不満(%)」

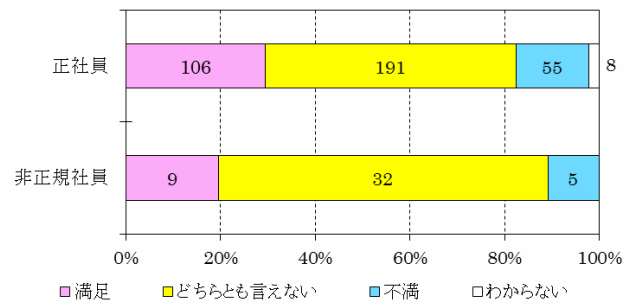


前回：第3回調査（2012.11月調査）

就業形態別にみた仕事の満足感

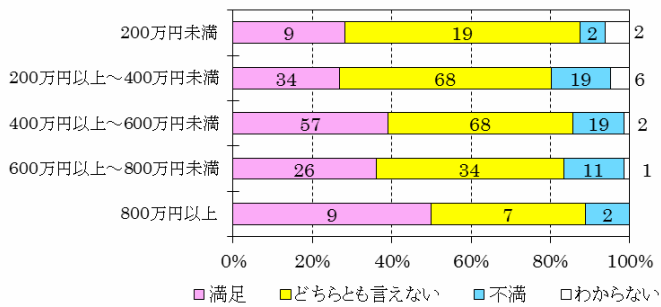


就業形態別にみた仕事の満足感

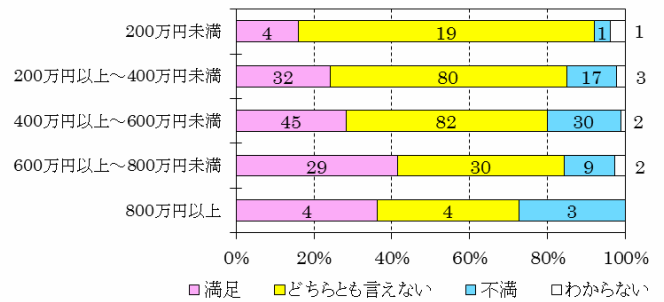


前回：第3回調査（2012.11月調査）

年収別にみた仕事の満足感



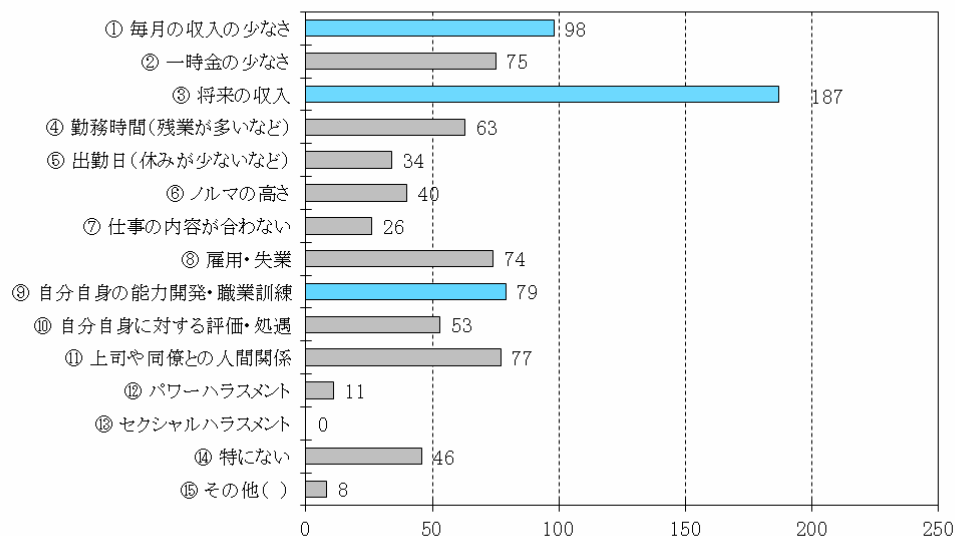
年収別にみた仕事の満足感



6．仕事での不安・悩み

「将来の収入」が 403 名中 187 名、「毎月の収入の少なさ」が 98 名で、第 1 回調査から変わらず第 1 位、第 2 位となった。第 3 位には「自分自身の能力開発・職業訓練」79 名が入った。第 1 回から第 3 回まで第 3 位であった「上司や同僚との人間関係」は 78 名で今回第 4 位となった。

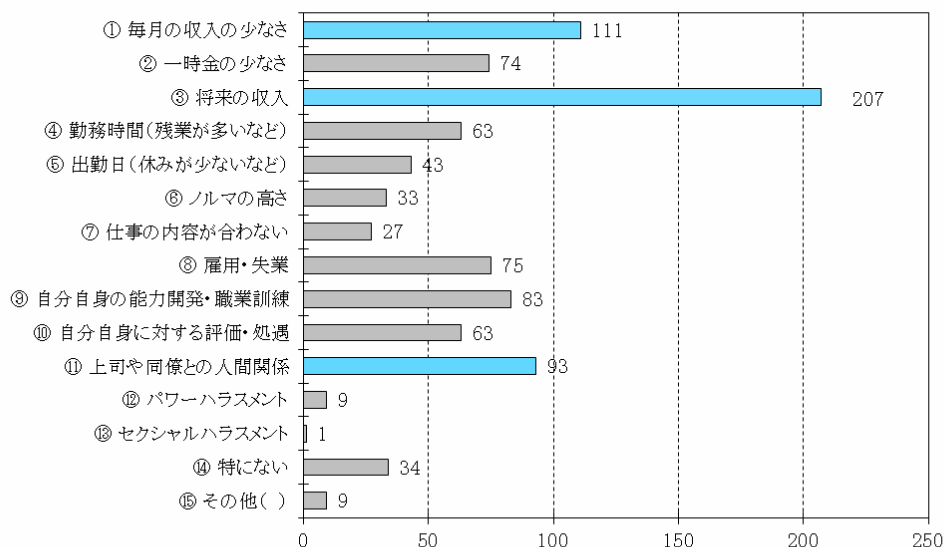
問6 仕事に関連して、この半年間に特に不安に思ったこと・悩んだこと
(3つまで選択可)



N=403

前回：第 3 回調査（2012.11 月調査）

問6 仕事に関連して、この半年間に特に不安に思ったこと・悩んだこと
(3つまで選択可)



N=405

7. 世帯全体の収入

1年前と比べて、世帯全体の収入は、「変わらない」が56.0%であり最多であったが、「増えた」が前回から約2ポイント増え16.8%、「減った」が約3ポイント減り23.7%であった。

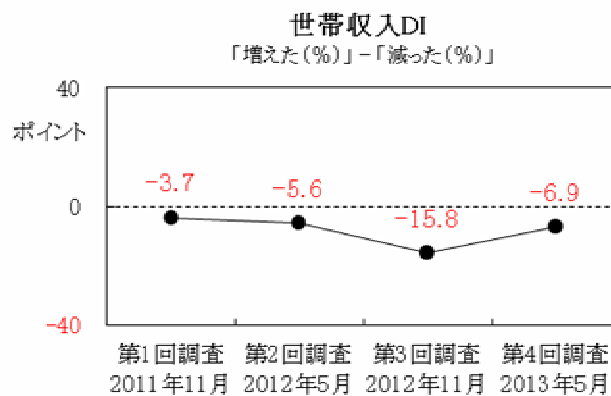
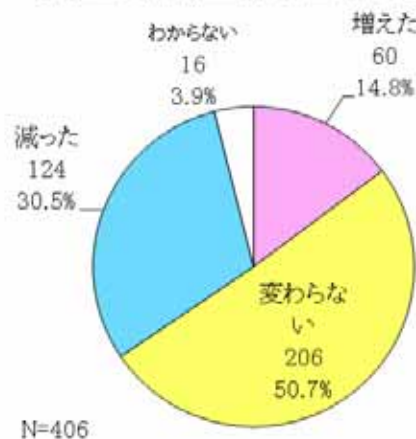
その結果、世帯収入DIも前回の-15.8から今回の-6.9に改善した。

前回：第3回調査（2012.11月調査）

問7 世帯全体の収入(1年前と比べて)



問7 世帯全体の収入(1年前と比べて)



8．世帯全体の支出

1年前と比べて、世帯全体の支出は、「増えた」が49.3%、「減った」3.9%であった。
勤労者世帯は、ほぼ半数が支出が増えたととらえている。

ただ、前回の「増えた」が53.6%、「減った」が6.4%からみると、世帯全体の支出は
「増えた」としたものの、「減った」としたものがそれぞれ微減している。

前回：第3回調査（2012.11月調査）

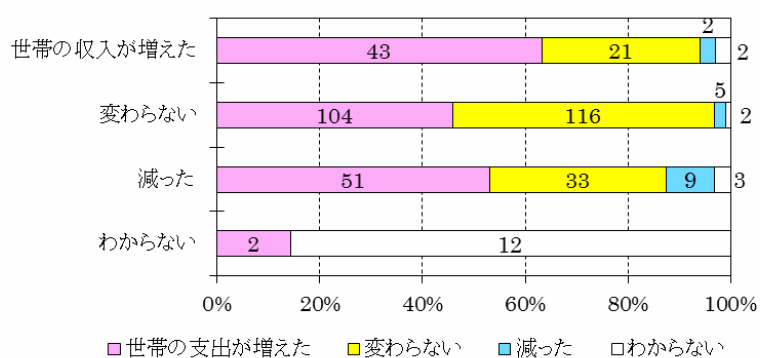
問8 世帯全体の支出(1年前と比べて)



問8 世帯全体の支出(1年前と比べて)



世帯収入の変化と世帯支出の変化(1年前と比べて)

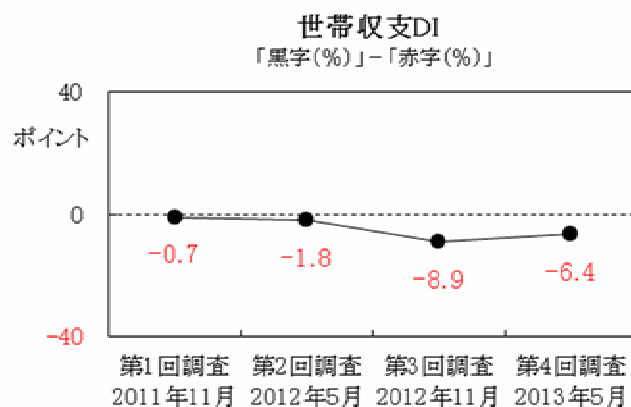
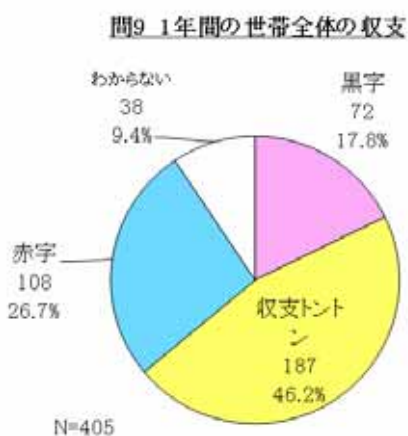


9．世帯の年間収支

世帯の年間収支は、「黒字」の割合が前回 17.8%から今回 20.4%へと増え、「収支トントン」が前回 46.2%から今回 43.3%へと減り、「赤字」の割合は前回とほぼ同じ 26.8%であった。

世帯収支DI な前回 - 8.9 から今回 - 6.4 へと改善した。

前回：第3回調査（2012.11月調査）



10．世帯の暮らし向き

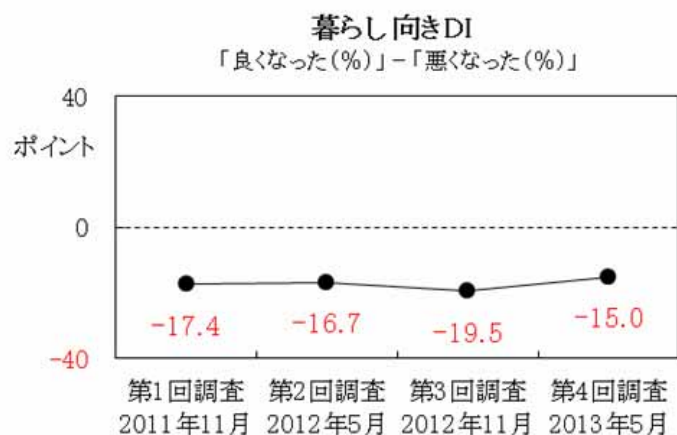
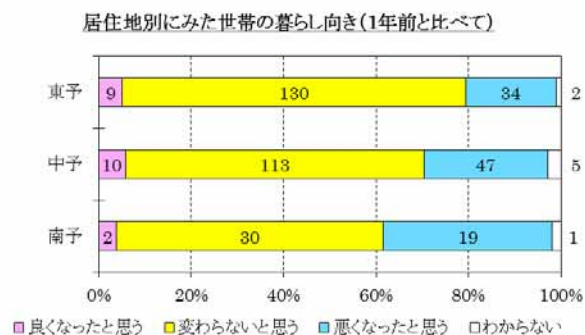
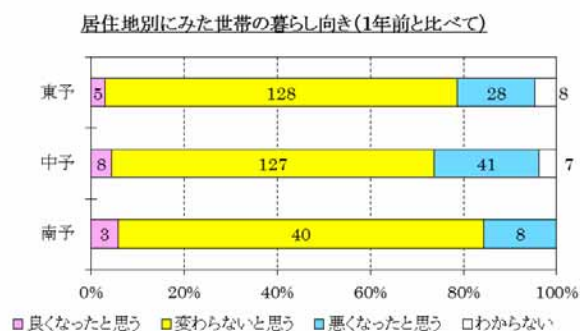
1年前と比べて世帯の暮らし向きが「悪くなった」のが19.0%、「良くなった」のは3.9%であったが、暮らし向きDIは、前回-19.5から今回-15.0へとやや改善している。

居住別に見た世帯の暮らし向きは、昨年と違う傾向がみられ、特に南予において、「悪くなった」とする割合が減少している。

前回：第3回調査（2012.11月調査）



前回：第3回調査（2012.11月調査）



11. 生活の満足度

前回調査で「満足」と「不満」の割合はほぼ同じであったが、今回調査では「満足」が30.0%、「不満」が20.9%であった。生活満足DIは、-1.0から9.1に改善している。

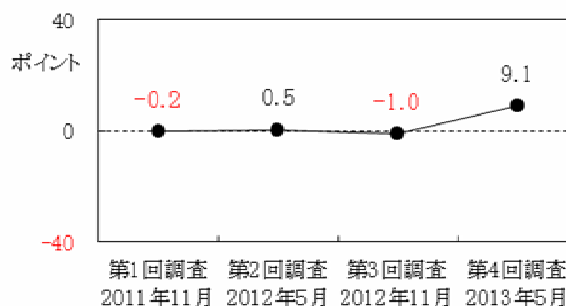
就業形態別にみると、非正規では「不満」が減少し、「どちらともいえない」が増加、「満足」も若干増加している。年齢別にみると、前回と比べて40歳代、50歳代の「不満」が減少し、「満足」も若干増している。

世帯収入別にみると、収入の増減と「満足」「不満」の増減に相関性が見られた。また、仕事の満足度と生活の満足度にも関連性が見られた。

問11 生活の満足感

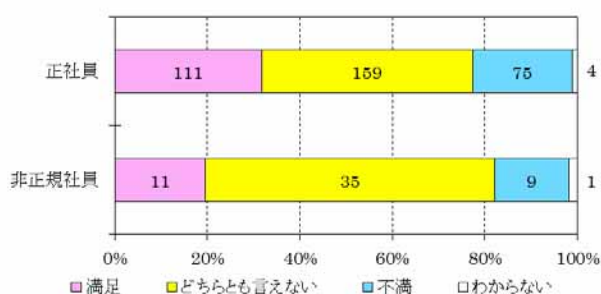


生活満足DI
「満足(%)」-「不満(%)」

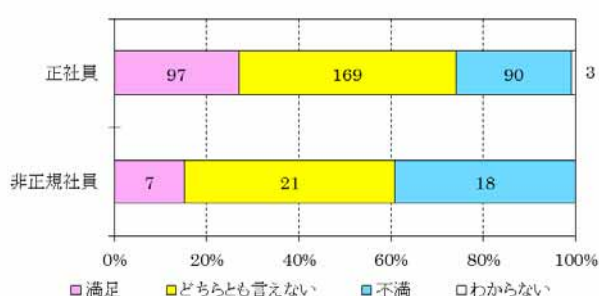


前回：第3回調査（2012.11月調査）

就業形態別にみた生活の満足感

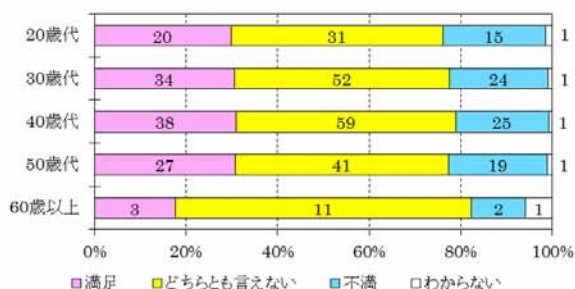


就業形態別にみた生活の満足感

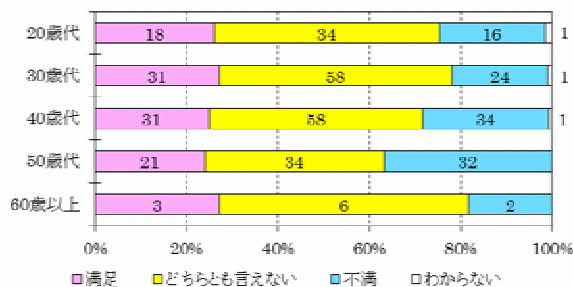


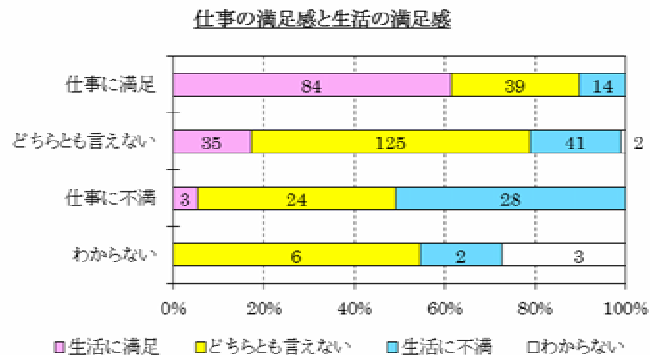
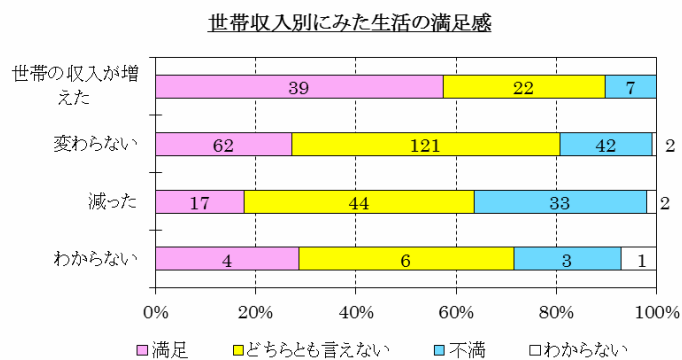
前回：第3回調査（2012.11月調査）

年齢別にみた生活の満足感



年齢別にみた生活の満足感

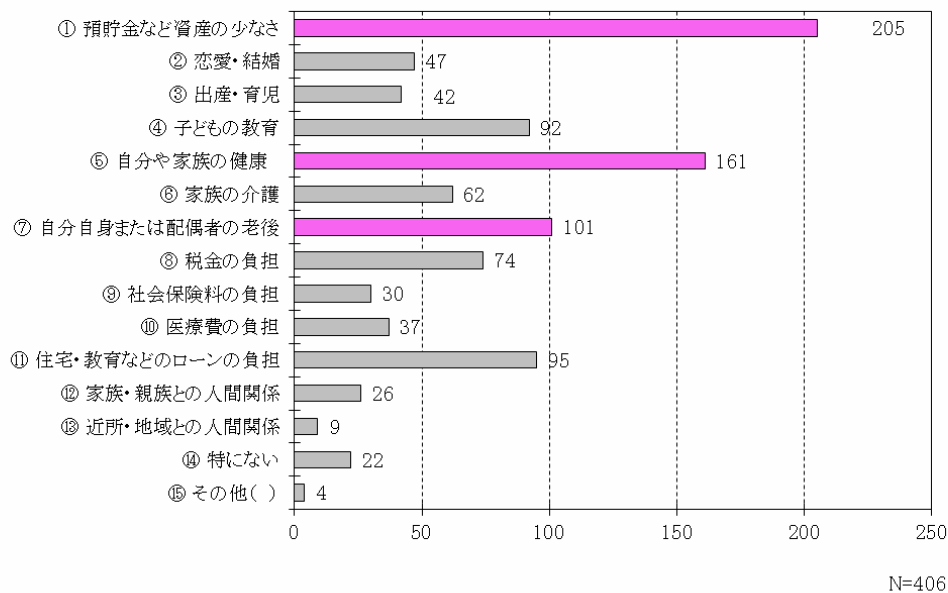




12.暮らし向きに関連した不安・悩み

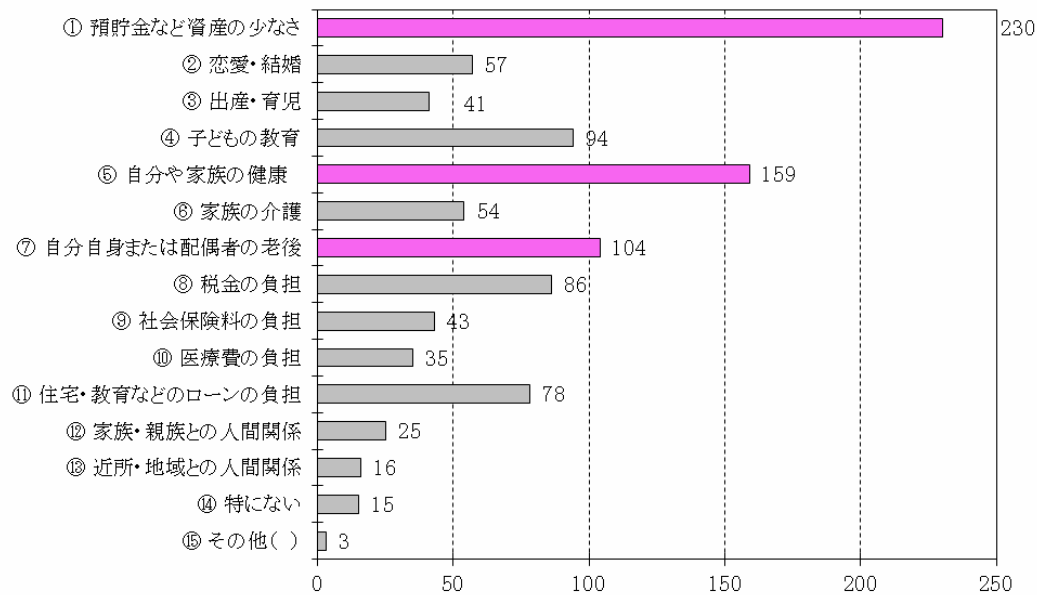
「預貯金など資産の少なさ」が403名中205名、「自分や家族の健康」161名、「自分自身または配偶者の老後」101名の順番であり、第1回調査から変化はない。

問12 暮らし向きに関連して、この半年間に特に不安に思ったこと・悩んだこと
(3つまで選択可)



前回：第3回調査（2012.11月調査）

問12 暮らし向きに関連して、この半年間に特に不安に思ったこと・悩んだこと
（3つまで選択可）



N=405

第4回愛媛県勤労者定期観測調査

報告書原稿執筆者

丹下 晴喜（愛媛大学法文学部 准教授）

089 - 927 - 9239（研究室） / 070 - 5689 - 0016（携帯）

調査担当者

佐藤 智秋（愛媛大学法文学部 准教授）

丹下 晴喜（愛媛大学法文学部 准教授）

鷺澤 光夫（愛媛県労働者福祉協議会 事務局長）

福岡 達弥（愛媛県労働者福祉協議会 主任）